

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／不動産投信 <b>特化型</b>	
信託期間	2025年3月14日まで（2015年3月20日設定）	
運用方針	AMP オーストラリアREITマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてオーストラリアの不動産投資信託証券に実質的な投資を行います。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。マザーファンドの不動産投資信託証券等の運用にあたっては、AMPキャピタル・インベスターズ・リミテッドに運用指図に関する権限を委託します。	
主要運用対象	ベビーファンド	AMP オーストラリアREITマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	オーストラリアの不動産投資信託証券を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。なお、第3計算期末までの間は、収益の分配は行いません。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。  
 ※公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。  
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

- ファンドは特化型運用を行います。一般社団法人投資信託協会は信用リスク集中回避を目的とした投資制限（分散投資規制）を設けており、投資対象に支配的な銘柄（寄与度が10%を超える又は超える可能性の高い銘柄）が存在し、又は存在することとなる可能性が高いものを、特化型としています。
- ファンドは、オーストラリアの不動産投資信託証券に実質的に投資します。オーストラリアの不動産投資信託証券には、寄与度が10%を超える又は超える可能性の高い支配的な銘柄が存在するため、特定の銘柄への投資が集中することがあり、当該支配的な銘柄に経営破綻や経営・財務状況の悪化が生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。  
 \* 寄与度とは、投資対象候補銘柄の時価総額の合計額における一発行体あたりの時価総額が占める比率または運用管理等に用いる指数における一発行体あたりの構成比率を指します。

## 運用報告書（全体版）

# 三菱UFJ／AMP オーストラリア REITファンド 〈為替ヘッジなし〉（毎月決算型）

愛称：コアランド



第7期（決算日：2015年10月15日）  
 第8期（決算日：2015年11月16日）  
 第9期（決算日：2015年12月15日）  
 第10期（決算日：2016年1月15日）  
 第11期（決算日：2016年2月15日）  
 第12期（決算日：2016年3月15日）



## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
 さて、お手持ちの「三菱UFJ／AMP オーストラリアREITファンド〈為替ヘッジなし〉（毎月決算型）（愛称：コアランド）」は、去る3月15日に第12期の決算を行いましたので、法令に基づいて第7期～第12期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



## 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
 URL:<http://www.am.mufg.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル **TEL. 0120-151034**  
 (9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)  
 お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

# ◆目次

## 三菱UFJ/AMP オーストラリアREITファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)のご報告

◇設定以来の運用実績	1
◇当作成期中の基準価額と市況等の推移	2
◇運用経過	3
◇今後の運用方針	6
◇1万口当たりの費用明細	7
◇売買及び取引の状況	8
◇利害関係人との取引状況等	8
◇組入資産の明細	8
◇投資信託財産の構成	9
◇資産、負債、元本及び基準価額の状況	9
◇損益の状況	10
◇分配金のお知らせ	11
◇お知らせ	11

## マザーファンドのご報告

◇AMP オーストラリアREITマザーファンド	12
-------------------------	----

## 本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

## ○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			( 参 考 指 数 ) S&P/ASX 200 A-REIT Index ( 配 当 込 み 、 円 換 算 ベ ー ス )		投 資 信 託 組 入 比 率	純 資 産 額
	( 分 配 落 )	税 分 配 金	期 騰 落 中 率	期 騰 落 中 率	中 率		
( 設 定 日 )	円	円	%		%	%	百万円
2015年3月20日	10,000	—	—	10,000.00	—	—	2,119
1期(2015年4月15日)	9,751	—	△2.5	9,754.41	△2.5	98.3	3,202
2期(2015年5月15日)	9,942	—	2.0	9,971.04	2.2	98.5	3,976
3期(2015年6月15日)	9,755	—	△1.9	9,792.34	△1.8	98.7	4,076
4期(2015年7月15日)	9,567	10	△1.8	9,703.70	△0.9	97.6	4,035
5期(2015年8月17日)	9,515	10	△0.4	9,725.80	0.2	98.0	3,951
6期(2015年9月15日)	8,681	10	△8.7	8,835.64	△9.2	98.2	3,553
7期(2015年10月15日)	8,753	10	0.9	8,941.12	1.2	99.1	3,143
8期(2015年11月16日)	8,810	10	0.8	9,008.30	0.8	98.0	2,848
9期(2015年12月15日)	8,976	10	2.0	9,189.90	2.0	98.9	2,734
10期(2016年1月15日)	8,543	10	△4.7	8,838.54	△3.8	98.3	2,488
11期(2016年2月15日)	8,583	10	0.6	8,937.59	1.1	98.1	2,347
12期(2016年3月15日)	9,408	10	9.7	9,781.24	9.4	97.8	2,474

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 信託約款の規定にしたがい、第3期までの収益分配は行っていません。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) S&P/ASX 200 A-REIT Indexとは、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCが公表している指数で、オーストラリア証券取引所の上場不動産投資信託の値動きを示す代表的な指数の1つです。S&P/ASX 200 A-REIT Index (配当込み、円換算ベース)とは、S&P/ASX 200 A-REIT Index (配当込み)をもとに、委託会社が計算したものです。

S&P/ASX 200 A-REIT IndexはS&P Dow Jones Indices LLC (「SPDJI」)の商品であり、これを利用するライセンスが三菱UFJ国際投信株式会社に付与されています。Standard & Poor's<sup>®</sup>およびS&P<sup>®</sup>はStandard & Poor's Financial Services LLC (「S&P」)の登録商標で、Dow Jones<sup>®</sup>はDow Jones Trademark Holdings LLC (「Dow Jones」)の登録商標であり、これらの商標を利用するライセンスがSPDJIに、特定目的での利用を許諾するサブライセンスが三菱UFJ国際投信株式会社にそれぞれ付与されています。当ファンドは、SPDJI、Dow Jones、S&Pまたはそれぞれの関連会社によってスポンサー、保証、販売、または販売促進されているものではなく、これら関係者のいずれも、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S&P/ASX 200 A-REIT Indexの誤り、欠落、または中断に対して一切の責任も負いません。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額		( 参 考 指 数 ) S&P/ASX 200 A-REIT Index (配当込み、 円換算ベース)		投 資 信 託 証 入 比 率
		騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	
第7期	(期首) 2015年9月15日	円 8,681	% —	8,835.64	% —	% 98.2
	9月末	8,370	△3.6	8,523.62	△3.5	98.6
	(期末) 2015年10月15日	8,763	0.9	8,941.12	1.2	99.1
第8期	(期首) 2015年10月15日	8,753	—	8,941.12	—	99.1
	10月末	9,140	4.4	9,341.41	4.5	99.4
	(期末) 2015年11月16日	8,820	0.8	9,008.30	0.8	98.0
第9期	(期首) 2015年11月16日	8,810	—	9,008.30	—	98.0
	11月末	9,150	3.9	9,360.59	3.9	98.8
	(期末) 2015年12月15日	8,986	2.0	9,189.90	2.0	98.9
第10期	(期首) 2015年12月15日	8,976	—	9,189.90	—	98.9
	12月末	9,458	5.4	9,777.74	6.4	98.0
	(期末) 2016年1月15日	8,553	△4.7	8,838.54	△3.8	98.3
第11期	(期首) 2016年1月15日	8,543	—	8,838.54	—	98.3
	1月末	9,164	7.3	9,489.11	7.4	98.0
	(期末) 2016年2月15日	8,593	0.6	8,937.59	1.1	98.1
第12期	(期首) 2016年2月15日	8,583	—	8,937.59	—	98.1
	2月末	8,886	3.5	9,273.49	3.8	97.8
	(期末) 2016年3月15日	9,418	9.7	9,781.24	9.4	97.8

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

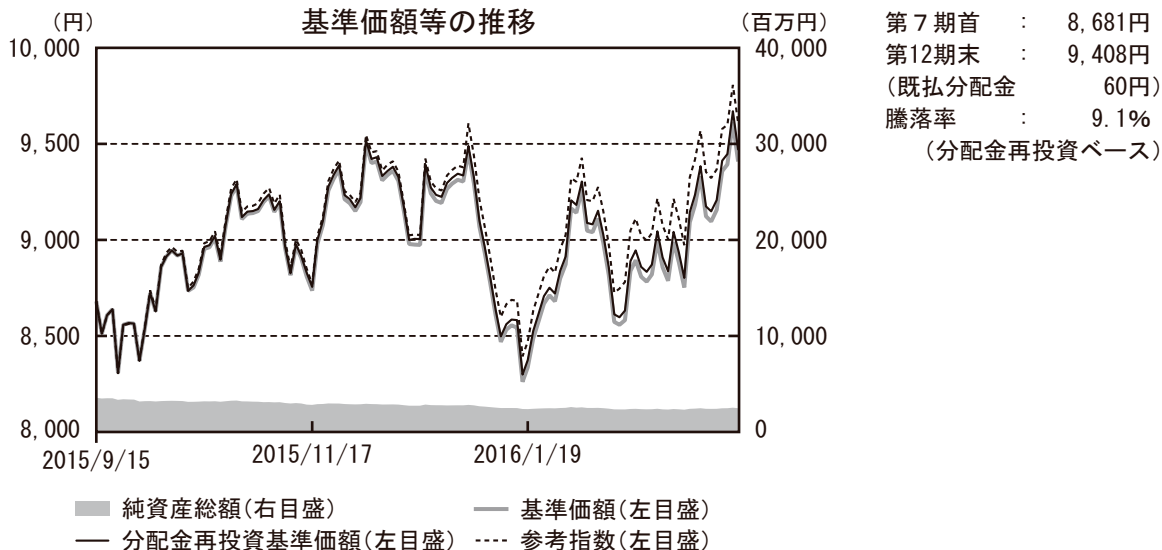
## 運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について

(第7期～第12期：2015/9/16～2016/3/15)

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ9.1%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。



- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

## 基準価額の主な変動要因

上昇要因

オーストラリアREIT市況の上昇が基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

豪ドルが対円で下落したことが基準価額の下落要因となりました。

投資環境について

(第7期～第12期：2015/9/16～2016/3/15)

◎オーストラリアREIT市況

- ・資源セクターの停滞から歴史的な低金利の金融政策が採られる中、堅調な豪州国内の景気動向を背景に、オーストラリアREIT市況は上昇基調で推移しました。

◎為替市況

- ・堅調な豪州経済指標が豪ドル高要因となった一方、国際的に通貨安競争を回避しようとする流れの中で、直接円安につながるような日銀の金融政策を期待しにくくなっていることは円高要因となりました。当作成期を通じて見ると、豪ドルは円に対して下落しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

<三菱UFJ／AMP オーストラリアREITファンド<為替ヘッジなし>(毎月決算型)>

- ・当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、オーストラリアのREITを高位に組み入れる運用を行いました。

<AMP オーストラリアREITマザーファンド>

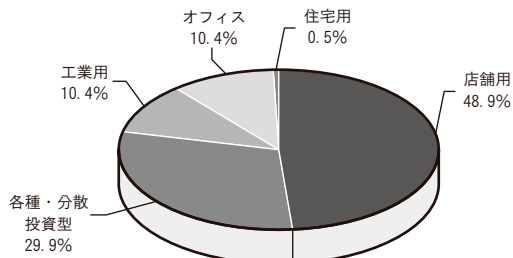
基準価額は当作成期首に比べ10.0%の上昇となりました。

- ・オーストラリアのREITを高位に組み入れつつ、中長期的な不動産価値の向上による恩恵が期待される、店舗用の優良な物件を重視しながら、オフィス用REITについては都市毎の経済環境によって選別的な運用を行いました。
- ・個別銘柄では、業績が堅調な店舗用REITの「SCENTRE GROUP」や工業用REITの「GOODMAN GROUP」などが上昇しました。
- ・当作成期においては、豪ドルが対円で下落したことがマイナス要因となったものの、主にオーストラリアREIT市況の上昇がプラスとなり、基準価額は上昇しました。

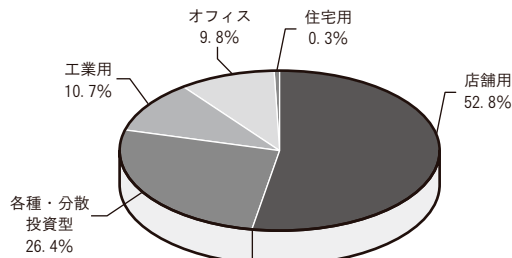
(ご参考)

用途別構成比率

作成期首 (2015年9月15日)



作成期末 (2016年3月15日)

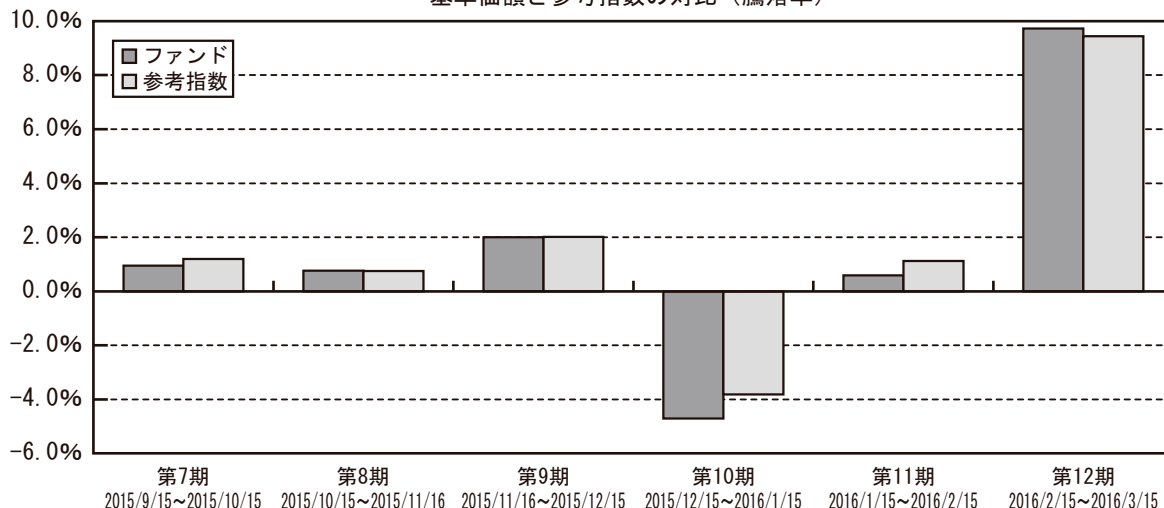


・比率はREIT評価額に対する割合です。  
 ・GICS (世界産業分類基準)に基づいてAMPキャピタル・インベスターズ・リミテッドの分類で表示しています。

・比率はREIT評価額に対する割合です。  
 ・GICS (世界産業分類基準)に基づいてAMPキャピタル・インベスターズ・リミテッドの分類で表示しています。

## 当該投資信託のベンチマークとの差異について (第7期~第12期: 2015/9/16~2016/3/15)

基準価額と参考指数の対比 (騰落率)



・ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

- ・当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。上記のグラフは当ファンド(ベビーファンド)の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
- ・参考指数はS&P/ASX 200 A-REIT Index (配当込み、円換算ベース)です。

## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益(留保益)につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

## 【分配原資の内訳】

(単位: 円、1万口当たり、税込み)

項 目	第7期	第8期	第9期	第10期	第11期	第12期
	2015年9月16日~ 2015年10月15日	2015年10月16日~ 2015年11月16日	2015年11月17日~ 2015年12月15日	2015年12月16日~ 2016年1月15日	2016年1月16日~ 2016年2月15日	2016年2月16日~ 2016年3月15日
当期分配金 (対基準価額比率)	10 0.114%	10 0.113%	10 0.111%	10 0.117%	10 0.116%	10 0.106%
当期の収益	5	0	0	10	10	10
当期の収益以外	4	9	9	—	—	—
翌期繰越分配対象額	109	100	91	144	168	221

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### <三菱UFJ／AMP オーストラリアREITファンド<為替ヘッジなし>(毎月決算型)>

#### ◎今後の運用方針

- ・運用の基本方針に基づき、マザーファンドへの投資を通じて、オーストラリアのREITを高位に組み入れ、値上がり益の獲得および配当収益の確保をめざす運用を行います。

### <AMP オーストラリアREITマザーファンド>

#### ◎運用環境の見通し

- ・オーストラリア経済については、中国経済の成長鈍化や、直近の高値に比べ低水準となった資源価格が鉱業セクターに与える影響などを引き続き注視しています。こうしたマクロ経済環境の下では、RBA（豪州連邦準備銀行）が緩和的な金融政策スタンスを維持しやすいものと見られますが、これは一方で、オーストラリア経済、ひいてはオーストラリアREIT市況のサポート要因にもなると見ています。実際に資源関連以外のセクターでは景気が回復しつつあり、中国からの旅行者による消費拡大の恩恵も期待されています。

#### ◎今後の運用方針

- ・運用につきましては、不動産価値の向上が期待される優良な物件を重視した運用を行い、中長期的な信託財産の成長と配当収益の確保をめざします。セクター別では、相対的に堅調な内需の恩恵を受けやすい店舗用REITに注目しており、小売りセクターが堅調なシドニーやメルボルンといった都市地域の恩恵を享受できるREITについては、選別的な投資機会を提供するものとして積極的な見方をしています。住宅用REITについては、人口が増加基調にあることは市況の下支え要因と見られるものの、銀行が不動産向け融資に対して積極的な姿勢を取りにくくなってきている点については留意しています。一方、資源開発企業からの需要に力強さが欠けるオフィス用REITに対しては相対的に消極姿勢を取っています。



## ○ 1万口当たりの費用明細

(2015年9月16日～2016年3月15日)

項 目	第7期～第12期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率× (作成期中の日数÷年間日数)
( 投 信 会 社 )	(39)	(0.435)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
( 販 売 会 社 )	(29)	(0.322)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 2 )	(0.021)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	6	0.063	(b) 売買委託手数料＝作成期中の売買委託手数料÷作成期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
( 投 資 信 託 証 券 )	( 6 )	(0.063)	
(c) そ の 他 費 用	6	0.068	(c) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 6 )	(0.066)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
( 監 査 費 用 )	( 0 )	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
( そ の 他 )	( 0 )	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	82	0.910	
作成期中の平均基準価額は、9,028円です。			

(注) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2015年9月16日～2016年3月15日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第7期～第12期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
AMP オーストラリアREITマザーファンド	—	—	1,488,769	1,331,500

## ○利害関係人との取引状況等

(2015年9月16日～2016年3月15日)

## 利害関係人との取引状況

&lt;三菱UFJ/AMP オーストラリアREITファンド&lt;為替ヘッジなし&gt; (毎月決算型) &gt;

該当事項はございません。

&lt;AMP オーストラリアREITマザーファンド&gt;

区 分	第7期～第12期					
	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$		
	百万円	%	百万円	百万円	%	%
為替直物取引	—	—	—	1,334	124	9.3

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行です。

## ○組入資産の明細

(2016年3月15日現在)

## 親投資信託残高

銘 柄	第6期末		第12期末	
	口 数	評 価 額	口 数	評 価 額
	千口	千円	千口	千円
AMP オーストラリアREITマザーファンド	4,053,759	2,564,989	2,469,828	2,469,828

マザーファンドの組入資産の明細につきましては、マザーファンド頁をご参照ください。

## ○投資信託財産の構成

（2016年3月15日現在）

項 目	第12期末	
	評 価 額	比 率
AMP オーストラリアREITマザーファンド	千円 2,469,828	% 99.4
コール・ローン等、その他	15,016	0.6
投資信託財産総額	2,484,844	100.0

(注) AMP オーストラリアREITマザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産（2,467,830千円）の投資信託財産総額（2,482,661千円）に対する比率は99.4%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 オーストラリアドル=85.44円			
--------------------	--	--	--

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第7期末	第8期末	第9期末	第10期末	第11期末	第12期末
	2015年10月15日現在	2015年11月16日現在	2015年12月15日現在	2016年1月15日現在	2016年2月15日現在	2016年3月15日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	3,183,718,378	2,973,462,335	2,757,444,705	2,520,328,498	2,369,388,918	2,484,844,217
コール・ローン等	17,069,443	10,294,946	5,778,720	7,559,491	10,320,188	10,016,046
AMP オーストラリアREITマザーファンド(評価額)	3,126,648,908	2,833,167,373	2,726,665,976	2,475,768,995	2,339,068,714	2,469,828,171
未収入金	40,000,000	130,000,000	25,000,000	37,000,000	20,000,000	5,000,000
未収利息	27	16	9	12	16	-
(B) 負債	40,185,232	124,632,861	22,517,427	31,885,890	22,260,685	10,380,754
未払収益分配金	3,591,173	3,233,674	3,046,899	2,912,776	2,734,521	2,630,052
未払解約金	32,298,773	117,105,188	15,880,217	25,365,149	16,244,011	4,754,772
未払信託報酬	4,284,658	4,283,376	3,581,430	3,599,038	3,274,035	2,988,520
その他未払費用	10,628	10,623	8,881	8,927	8,118	7,410
(C) 純資産総額(A-B)	3,143,533,146	2,848,829,474	2,734,927,278	2,488,442,608	2,347,128,233	2,474,463,463
元本	3,591,173,170	3,233,674,126	3,046,899,670	2,912,776,470	2,734,521,416	2,630,052,621
次期繰越損益金	△ 447,640,024	△ 384,844,652	△ 311,972,392	△ 424,333,862	△ 387,393,183	△ 155,589,158
(D) 受益権総口数	3,591,173,170口	3,233,674,126口	3,046,899,670口	2,912,776,470口	2,734,521,416口	2,630,052,621口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,753円	8,810円	8,976円	8,543円	8,583円	9,408円

## ○損益の状況

項 目	第7期	第8期	第9期	第10期	第11期	第12期
	2015年9月16日～ 2015年10月15日	2015年10月16日～ 2015年11月16日	2015年11月17日～ 2015年12月15日	2015年12月16日～ 2016年1月15日	2016年1月16日～ 2016年2月15日	2016年2月16日～ 2016年3月15日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	1,894	659	727	646	533	13
受取利息	1,894	659	727	646	533	13
(B) 有価証券売買損益	32,912,657	25,470,754	56,932,840	△119,719,239	16,723,747	222,505,155
売買益	40,912,799	34,315,767	64,419,485	4,437,489	22,953,370	225,826,898
売買損	△ 8,000,142	△ 8,845,013	△ 7,486,645	△124,156,728	△ 6,229,623	△ 3,321,743
(C) 信託報酬等	△ 4,295,286	△ 4,293,999	△ 3,590,311	△ 3,607,965	△ 3,282,153	△ 2,995,930
(D) 当期損益金(A+B+C)	28,619,265	21,177,414	53,343,256	△123,326,558	13,442,127	219,509,238
(E) 前期繰越損益金	△447,533,674	△379,912,123	△339,984,629	△276,577,295	△376,745,699	△351,675,428
(F) 追加信託差損益金	△ 25,134,442	△ 22,876,269	△ 22,284,120	△ 21,517,233	△ 21,355,090	△ 20,792,916
(配当等相当額)	( 650,869)	( 616,376)	( 666,122)	( 655,887)	( 748,224)	( 751,180)
(売買損益相当額)	(△ 25,785,311)	(△ 23,492,645)	(△ 22,950,242)	(△ 22,173,120)	(△ 22,103,314)	(△ 21,544,096)
(G) 計(D+E+F)	△444,048,851	△381,610,978	△308,925,493	△421,421,086	△384,658,662	△152,959,106
(H) 収益分配金	△ 3,591,173	△ 3,233,674	△ 3,046,899	△ 2,912,776	△ 2,734,521	△ 2,630,052
次期繰越損益金(G+H)	△447,640,024	△384,844,652	△311,972,392	△424,333,862	△387,393,183	△155,589,158
追加信託差損益金	△ 25,134,442	△ 22,876,269	△ 22,284,120	△ 21,517,233	△ 21,355,090	△ 20,792,916
(配当等相当額)	( 659,674)	( 616,376)	( 666,166)	( 670,551)	( 748,304)	( 752,167)
(売買損益相当額)	(△ 25,794,116)	(△ 23,492,645)	(△ 22,950,286)	(△ 22,187,784)	(△ 22,103,394)	(△ 21,545,083)
分配準備積立金	38,764,022	31,981,489	27,140,436	41,419,970	45,416,178	57,559,524
繰越損益金	△461,269,604	△393,949,872	△316,828,708	△444,236,599	△411,454,271	△192,355,766

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## ＜注記事項＞

- ①作成期首（前作成期末）元本額 4,093,443,700円  
 作成期中追加設定元本額 38,128,552円  
 作成期中一部解約元本額 1,501,519,631円  
 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.9408円です。
- ②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は155,589,158円です。
- ③分配金の計算過程

項 目	2015年9月16日～ 2015年10月15日	2015年10月16日～ 2015年11月16日	2015年11月17日～ 2015年12月15日	2015年12月16日～ 2016年1月15日	2016年1月16日～ 2016年2月15日	2016年2月16日～ 2016年3月15日
費用控除後の配当等収益額	2,062,270円	43,503円	25,872円	18,250,225円	9,119,014円	16,414,657円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円	－円	－円	－円	－円	－円
収益調整金額	659,674円	616,376円	666,166円	670,551円	748,304円	752,167円
分配準備積立金額	40,292,925円	35,171,660円	30,161,463円	26,082,521円	39,031,685円	43,774,919円
当ファンドの分配対象収益額	43,014,869円	35,831,539円	30,853,501円	45,003,297円	48,899,003円	60,941,743円
1万口当たり収益分配対象額	119円	110円	101円	154円	178円	231円
1万口当たり分配金額	10円	10円	10円	10円	10円	10円
収益分配金金額	3,591,173円	3,233,674円	3,046,899円	2,912,776円	2,734,521円	2,630,052円

- ④「AMP オーストラリアREITマザーファンド」の信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産に属する同親投資信託の信託財産の純資産総額に対し年10,000分の44以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支払っております。

## ○分配金のお知らせ

	第7期	第8期	第9期	第10期	第11期	第12期
1万口当たり分配金(税込み)	10円	10円	10円	10円	10円	10円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金(特別分配金)」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金(特別分配金)となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%(所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%)の税率で源泉徴収(申告不要)されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※少額投資非課税制度「愛称：NISA(ニーサ)」をご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

\*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ(<http://www.am.mufg.jp/>)をご覧ください。

## 【お知らせ】

2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%(所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%(法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。))の税率が適用されます。

## AMP オーストラリアREITマザーファンド

## 《第2期》決算日2016年3月15日

[計算期間：2015年9月16日～2016年3月15日]

「AMP オーストラリアREITマザーファンド」は、3月15日に第2期の決算を行いました。  
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第2期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	主としてオーストラリアの不動産投資信託証券に投資を行います。不動産投資信託証券への投資にあたっては、人口動態分析、マクロ経済分析等のトップダウン・アプローチと、個別銘柄の割安度や保有資産・業績の分析および資本構造や経営の質等の分析によるボトムアップ・アプローチを併用し、銘柄選定を行います。不動産投資信託証券等の運用にあたっては、AMPキャピタル・インベスターズ・リミテッドに運用指図に関する権限を委託します。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	オーストラリアの不動産投資信託証券を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

## ○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		(参考指数)		投資信託証券組入比率	純資産総額
	期騰落	中率	S&P/ASX 200 A-REIT Index (配当込み、円換算ベース)	期騰落中率		
(設定日)	円	%		%	%	百万円
2015年3月20日	10,000	—	10,000.00	—	—	2,100
1期(2015年9月15日)	8,754	△12.5	8,835.64	△11.6	98.4	3,548
2期(2016年3月15日)	9,629	10.0	9,781.24	10.7	98.0	2,469

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) S&P/ASX 200 A-REIT Indexとは、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCが公表している指数で、オーストラリア証券取引所の上場不動産投資信託の値動きを示す代表的な指数の1つです。S&P/ASX 200 A-REIT Index (配当込み、円換算ベース)とは、S&P/ASX 200 A-REIT Index (配当込み)をもとに、委託会社が計算したものです。

S&P/ASX 200 A-REIT IndexはS&P Dow Jones Indices LLC (「SPDJI」)の商品であり、これを利用するライセンスが三菱UFJ国際投信株式会社に付与されています。Standard & Poor's<sup>®</sup>およびS&P<sup>®</sup>はStandard & Poor's Financial Services LLC (「S&P」)の登録商標で、Dow Jones<sup>®</sup>はDow Jones Trademark Holdings LLC (「Dow Jones」)の登録商標であり、これらの商標を利用するライセンスがSPDJIに、特定目的での利用を許諾するサブライセンスが三菱UFJ国際投信株式会社にそれぞれ付与されています。当ファンドは、SPDJI、Dow Jones、S&Pまたはそれぞれの関連会社によってスポンサー、保証、販売、または販売促進されているものではなく、これら関係者のいずれも、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S&P/ASX 200 A-REIT Indexの誤り、欠落、または中断に対して一切の責任も負いません。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		( 参 考 指 数 ) S&P/ASX 200 A-REIT Index ( 配 当 込 み 、 円 換 算 ベ ー ス )		投 資 信 託 券 率 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	
(期 首) 2015年9月15日	円	%		%	%
9月末	8,754	—	8,835.64	—	98.4
10月末	8,445	△ 3.5	8,523.62	△ 3.5	99.1
11月末	9,246	5.6	9,341.41	5.7	100.0
12月末	9,280	6.0	9,360.59	5.9	99.2
2016年1月末	9,616	9.8	9,777.74	10.7	98.4
2月末	9,338	6.7	9,489.11	7.4	98.3
3月末	9,077	3.7	9,273.49	5.0	98.1
(期 末) 2016年3月15日	9,629	10.0	9,781.24	10.7	98.0

(注) 騰落率は期首比。

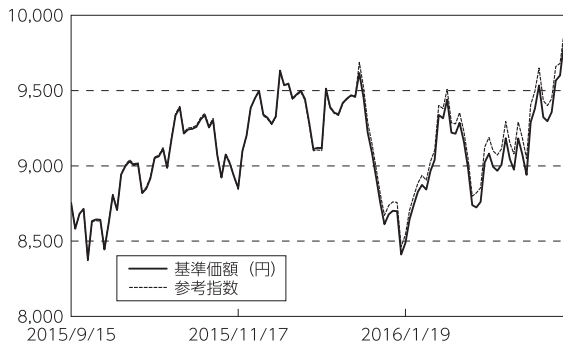
## ○運用経過

## ●当期中の基準価額等の推移について

## ◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ10.0%の上昇となりました。

基準価額の推移



(注) 参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

## ●投資環境について

## ◎オーストラリアREIT市況

・資源セクターの停滞から歴史的な低金利の金融政策が採られる中、堅調な豪州国内の景気動向

を背景に、オーストラリアREIT市況は上昇基調で推移しました。

## ◎為替市況

・堅調な豪州経済指標が豪ドル高要因となった一方、国際的に通貨安競争を回避しようとする流れの中で、直接円安につながるような日銀の金融政策を期待しにくくなっていることは円高要因となりました。期を通じて見ると、豪ドルは円に対して下落しました。

## ●当該投資信託のポートフォリオについて

・オーストラリアのREITを高位に組み入れつつ、中長期的な不動産価値の向上による恩恵が期待される、店舗用の優良な物件を重視しながら、オフィス用REITについては都市毎の経済環境によって選別的な運用を行いました。  
・個別銘柄では、業績が堅調な店舗用REITの「SCENTRE GROUP」や工業用REITの「GOODMAN GROUP」などが上昇しました。  
・当期においては、豪ドルが対円で下落したことがマイナス要因となったものの、主にオーストラリアREIT市況の上昇がプラスとなり、基準価額は上昇しました。

## ○今後の運用方針

### ◎運用環境の見通し

- ・オーストラリア経済については、中国経済の成長鈍化や、直近の高値に比べ低水準となった資源価格が鉱業セクターに与える影響などを引き続き注視しています。こうしたマクロ経済環境の下では、RBA（豪州連邦準備銀行）が緩和的な金融政策スタンスを維持しやすいものと見られますが、これは一方で、オーストラリア経済、ひいてはオーストラリアREIT市況のサポート要因にもなると見えています。実際に資源関連以外のセクターでは景気が回復しつつあり、中国からの旅行者による消費拡大の恩恵も期待されています。

### ◎今後の運用方針

- ・運用につきましては、不動産価値の向上が期待される優良な物件を重視した運用を行い、中長期的な信託財産の成長と配当収益の確保をめざします。セクター別では、相対的に堅調な内需の恩恵を受けやすい店舗用REITに注目しており、小売りセクターが堅調なシドニーやメルボルンといった都市地域の恩恵を享受できるREITについては、選別的な投資機会を提供するものとして積極的な見方をしています。住宅用REITについては、人口が増加基調にあることは市況の下支え要因と見られるものの、銀行が不動産向け融資に対して積極的な姿勢を取りにくくなってきている点については留意しています。一方、資源開発企業からの需要に力強さが欠けるオフィス用REITに対しては相対的に消極姿勢を取っています。



## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2015年9月16日～2016年3月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 ( 投 資 信 託 証 券 )	円 6 ( 6 )	% 0.064 (0.064)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( そ の 他 )	6 ( 6 ) ( 0 )	0.067 (0.066) (0.000)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	12	0.131	
期中の平均基準価額は、9,167円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2015年9月16日～2016年3月15日)

## 投資信託証券

銘 柄	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
オーストラリア	千口	千オーストラリアドル	千口	千オーストラリアドル
VICINITY CENTRES	140	385	358	1,002
ABACUS PROPERTY GROUP	—	—	33	101
INGENIA COMMUNITIES GROUP	76 (△342)	34 ( — )	221	186
CHARTER HALL GROUP	—	—	193	839
CROMWELL PROPERTY GROUP	67	66	177	176
SHOPPING CENTRES AUSTRALASIA	102	205	64	138
GROWTHPOINT PROPERTIES AUSTR	—	—	15	46
SCENTRE GROUP	32	123	749	3,027
AVENTUS RETAIL PROPERTY FUND	95	191	45	92
GPT GROUP	12	61	256	1,180
MIRVAC GROUP	—	—	860	1,563
STOCKLAND	—	—	426	1,683
WESTFIELD CORP	—	—	306	2,997
DEXUS PROPERTY GROUP	—	—	141	1,047
BWP TRUST	21	66	56	174
INVESTA OFFICE FUND	—	—	102	399
CHARTER HALL RETAIL REIT	45	190	20	84
GOODMAN GROUP	—	—	254	1,518
小 計	594 (△342)	1,325 ( — )	4,284	16,260

(注) 金額は受渡代金。

(注) ( )内は分割・合併および償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## ○利害関係人との取引状況等

(2015年9月16日～2016年3月15日)

## 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	%	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	%
為替直物取引	百万円 —	百万円 —	% —	百万円 1,334	百万円 124	% 9.3

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行です。

## ○組入資産の明細

(2016年3月15日現在)

## 外国投資信託証券

銘柄	期首(前期末)		当 期 末			
	口 数	口 数	評 価 額		比 率	
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(オーストラリア)	千口	千口	千オーストラリアドル	千円	%	
VICINITY CENTRES	1,028	811	2,506	214,187	8.7	
ABACUS PROPERTY GROUP	42	9	26	2,304	0.1	
INGENIA COMMUNITIES GROUP	516	28	72	6,201	0.3	
CHARTER HALL GROUP	292	99	466	39,891	1.6	
CROMWELL PROPERTY GROUP	142	32	32	2,776	0.1	
SHOPPING CENTRES AUSTRALASIA	178	216	478	40,889	1.7	
GROWTHPOINT PROPERTIES AUSTR	17	2	8	710	0.0	
SCENTRE GROUP	2,186	1,469	6,362	543,576	22.0	
AVENTUS RETAIL PROPERTY FUND	—	49	102	8,730	0.4	
GPT GROUP	707	463	2,253	192,567	7.8	
MIRVAC GROUP	1,990	1,129	2,101	179,542	7.3	
STOCKLAND	1,044	618	2,609	222,977	9.0	
WESTFIELD CORP	841	534	5,302	453,040	18.3	
DEXUS PROPERTY GROUP	394	252	1,953	166,874	6.8	
BWP TRUST	70	35	115	9,900	0.4	
INVESTA OFFICE FUND	295	192	798	68,192	2.8	
CHARTER HALL RETAIL REIT	23	48	213	18,277	0.7	
GOODMAN GROUP	690	435	2,913	248,951	10.1	
合 計	口 数 ・ 金 額	10,462	6,430	28,319	2,419,592	
	銘柄 数 < 比 率 >	17	18	—	<98.0%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率および合計欄の&lt; &gt;内は、純資産総額に対する評価額の比率。

## 純資産総額の10%を超える不動産ファンドに関する組入投資信託証券の内容

## ●SCENTRE GROUP（期末組入比率22.0%）

## ① 信託の概要

WESTFIELD GROUPの再編に伴い、2014年6月に形成されたリートであり、S&P/ASX 200 A-REIT Indexにおいて約20%を占めます。

豪州国内およびニュージーランドに約40のショッピングセンターを所有しています。

## ② 1口当たりの資産運用報酬額等

投資信託の資産運用報酬額等に相当する詳細な開示がないため、1口当たりの資産運用報酬額等に関する開示は出来ません。

ホームページアドレス <http://www.scentregroup.com/>

## ●WESTFIELD CORP（期末組入比率18.3%）

## ① 信託の概要

WESTFIELD GROUPの再編に伴い、2014年6月に形成されたリートであり、S&P/ASX 200 A-REIT Indexにおいて約20%を占めます。

米国やイギリスなどに約35のショッピングセンターを所有しています。

## ② 1口当たりの資産運用報酬額等

投資信託の資産運用報酬額等に相当する詳細な開示がないため、1口当たりの資産運用報酬額等に関する開示は出来ません。

ホームページアドレス <http://www.westfieldcorp.com/>

## ●GOODMAN GROUP（期末組入比率10.1%）

## ① 信託の概要

グッドマンは、商業用および産業用不動産の所有、開発、運営を行うリートで、グローバルに倉庫、大規模物流施設やオフィスなどを展開しています。S&P/ASX 200 A-REIT Indexにおいて約10%を占めます。

## ② 1口当たりの資産運用報酬額等

投資信託の資産運用報酬額等に相当する詳細な開示がないため、1口当たりの資産運用報酬額等に関する開示は出来ません。

ホームページアドレス <http://www.goodman.com/>

## ○投資信託財産の構成

(2016年3月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資証券	千円 2,419,592	% 97.5
コール・ローン等、その他	63,069	2.5
投資信託財産総額	2,482,661	100.0

(注) 期末における外貨建純資産 (2,467,830千円) の投資信託財産総額 (2,482,661千円) に対する比率は99.4%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 オーストラリアドル=85.44円		
--------------------	--	--

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2016年3月15日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	2,489,458,853
コール・ローン等	62,049,779
投資証券(評価額)	2,419,592,885
未収入金	6,797,432
未収配当金	1,018,757
(B) 負債	19,648,072
未払金	14,648,072
未払解約金	5,000,000
(C) 純資産総額(A-B)	2,469,810,781
元本	2,564,989,274
次期繰越損益金	△ 95,178,493
(D) 受益権総口数	2,564,989,274口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,629円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 4,053,759,163円  
期中追加設定元本額 0円  
期中一部解約元本額 1,488,769,889円  
また、1口当たり純資産額は、期末0.9629円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

三菱UFJ/AMP オーストラリアREITファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型) 2,564,989,274円

③純資産総額が元本額を下回っており、その差額は95,178,493円です。

## ○損益の状況 (2015年9月16日～2016年3月15日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	52,915,517
受取配当金	52,812,836
受取利息	102,681
(B) 有価証券売買損益	201,554,490
売買益	258,774,593
売買損	△ 57,220,103
(C) 保管費用等	△ 1,886,320
(D) 当期損益金(A+B+C)	252,583,687
(E) 前期繰越損益金	△505,032,069
(F) 解約差損益金	157,269,889
(G) 計(D+E+F)	△ 95,178,493
次期繰越損益金(G)	△ 95,178,493

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。